

# 白老町町内会連合会定期総会 開催

## 活発な意見の中、報告3件、議案3件が可決

令和6年度白老町町内会連合会定期総会を4月26日（金）白老町中央公民館講堂において開催しました。各町内会長、役員53人が出席。

来賓として大塩英男町長、山崎宏一社会福祉協議会会長をお迎えし、地域支援員、町連合事務局を含めて62人が出席しました。

開催に当たり桑田正博会長からは、次のようなあいさつがありました。「2020年からのコロナ禍により多くの町内会活動が停滞し、従来の町内活動が見通せない状況の中で、住んでいる人たちにとって、居心地の良い場所にすることが町内会の役割ではないかと考えます。そのためには、安全で、安心して住めること、そして環境が良く、人との関係が良好であることが大切であると考え、特に高齢者においては、身近に頼れる人がいることが大切であると再確認しました。その課題を解決するには、行政、社会福祉協議会、民生委員児童委員協議会などの各団体との協力連携を図り、各町内会の協力のもと「住みよいまちづくり」に努めていきたい。今年度皆さま方の心をひとつにして町内会活動取り組んで頂けたらと思っています」

大塩町長からは、町政運営の協力と町内会連合会および各町内会長への謝辞が冒頭にあり、高校生の医療費の無償化（8月から）、小中学生の給食の無償化（4カ月）、行政のデジタル化、町立病院の医師・看護師の意識改革、公園遊具の整備など今年度の町政施策について説明がありました。総会では、令和5年度の事業報告、収支・決算報告、会計監査報告、令和6年度事業計画案、収支予算案が可決されました。また、白老町町内会連合会役員選考規約の一部改正案が可決されました。質疑の中では、町内会長から高齢化による足の確保、タウンミーティングの報告の要請や表彰の拡大についての意見がありました。防災への取り組みについての要望があり、「充実していきたい」と桑田会長より発言がありました。新規事業として、町内会長同士の情報交換や親睦を深める町内会長研修会が採択されました。



### 白老町町内会長会議

町三役をはじめ白老町幹部職員22人が出席し、令和6年度予算と主要施策の説明がありました。



町連合だより

### 令和6年度事業計画

- ① 支えあい、助け合う事業  
・単位町内会および地区町内会の活動の支援
- ② 学び合う事業  
・研修会、講習会の紹介や開催、参加促進  
・ブロック別交流会・町内会活動実践交流会の主催
- ③ 白老町役場との架け橋となる業務  
・単位町内会、地区町内会の要望の取りまとめと役場への提言  
・役場からの回答の報告
- ④ 白老町からの運営補助金の送付に関わる業務  
・単位町内会運営・環境衛生推進  
・町内会街路灯電気料金の各補助金
- ⑤ 広報活動  
・単位町内会および地区町内会連合会の活動状況の紹介や課題の集約による共通課題の解決に向けた情報提供  
・役場と連携した町内会加入促進活動（問い合わせ・加入の取り次ぎ）

